

令和2年3月10日

足立区立第十二中学校

校長 上岡 祥邦 様

足立区立第十二中学校 開かれた学校づくり協議会

会長 野々村 誠

【平成31年度 学校関係者評価書】

1 自己評価書全般について

(1) 平成31年度の学校経営計画においてめざす学校像として、「基礎学力の確実な定着」「豊かな心の育成と規範意識の醸成」等を掲げている。「基礎学力の確実な定着」という面では、足立区の学力調査において全校平均通過率61.8%で、昨年より4.0%上昇した。学習コンテストにおいても国語・数学・英語とも目標の80%を超え、昨年より基礎学力が定着した様子が見られる。引き続き「基礎学力の確実な定着」を目指してもらいたい。

「豊かな心の育成」という部分では、「挨拶ができる落ち着いた学校」という地域の評判も高く、部活動、連合行事、地域行事においても大きな成果を上げている。学校生活のアンケートにおいては、87.9%の生徒が学校生活に満足していると答えており、バランスの取れた学校生活が送れている様子が伺われる。

(2) 平成21年度から実施している「サタデースクール」は、28年度より「ベーシックコース」と「アドバンスコース」の2コースを設け、地域の大学生1名と社会人2名の講師及び協議会のメンバー2名（ボランティア）の協力を得て21回実施し、前期は、28名、後期は24名が参加した。自学自習を原則としているが、基礎学力が不足している生徒は、自分で課題を見出せないことが多く、基礎学力定着用の教材を準備するなど、学習環境を整える必要がある。

(3) 開かれた学校づくり協議会活動として、今年度も協議会内に「評価部会」「家庭教育部会」「土曜事業部会（サタデースクール運営等）」「広報部会」を設置し協議した。また、2月には、家庭教育部会企画の講演会（講師：服部奈津子様）を開催した。協議会の広報活動として、「協議会だより」を協議会開催ごとに発行しているが、今年度も継続することができた。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

(1) 基礎学力の定着と通過率の向上については、一定の成果は見られたものの、引き続き学校及び協議会での課題であると考え。3教科学習コンテストの結果も、一定の成果は見られるものの更なる「高み」を目指してほしい。

(2) 令和元年11月24日の環境浄化活動では、今年度は残念ながら雨天のため個人での活動となったが、ここは区内東部の学園都市であり、幼保・小・中・高等学校をはじめ、地域の皆様、町会・自治会様と本校生徒が参加し、学区内ゴミ拾い等の清掃活動をする大きな地域行事のひとつであり、足立区が推奨する「ビューティフルウインドウズ活動」の一端を担っている。本協議会と第十二中オヤジの会などの協力で、平成11年から続くこの活動の拠点校として第十二中学校は地域清掃活動への貢献度が区内でも大きいものであり、今や伝統と考える。

(3) 毎年恒例の「ジョイントコンサート」を11/2(土)足立東高校にて開催し、参加人数は400名を超え年々内容も充実し、地域ぐるみの連携行事となり、文教都市化している。

3 その他

(1) 第十二中、中川東小、大谷田小、長門小をグループとする小中連携事業も行われているが、地域や家庭での課題については、開かれた学校づくり協議会でも報告してもらい、共に検討し共有していきたい。

(2) 本校の上岡祥邦校長をはじめ、教職員の皆様が献身的にご協力くださり、生徒に対するご指導も素晴らしい、心より感謝の意を表します。